みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	環境先進都市推進プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	自然・環境	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は、日本海に面する白砂青松の海岸線、緑豊かな山々、日本海に注ぐ多くの河川などの美しい自然環境に恵まれている。この豊かな自然環境を持続的に保全するため、市、事業者及び市民が一体となって環境保全活動に取り組む必要がある。また、「大量生産・大量消費・大量廃棄」を基調とした経済活動やライフスタイルを背景に、本市においても深刻な廃棄物問題に直面しており、環境への負担を低減させる取り組みが求められている。このような状況から、ごみの減量化と限りある資源の有効活用を図ることが必要である。</p> <p>地域住民においても自治会、NPO等を通じ、環境保全や新エネルギーの導入、循環型社会の構築に関する取り組みが活発に行われており、住民ニーズは高い。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>美しい海と豊かな森林に包まれた良好な自然環境を守り育てるため、市民、事業者、行政の協働によって、この自然と共生する生活環境と循環型社会を築き、日本に誇れる環境先進都市の実現を目的とする。</p>							
	総事業費（千円）	937,920	本年度事業費（千円）	101,096	交付金額（千円）	19,581		

プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	環境保全活動事業	交付対象事業	美しいふるさとづくり審議会を設置し、環境保全重点区域の監視活動や保護啓発を行うほか、環境保全活動を行う市民団体等を支援する。	美しいふるさとづくり審議会を設置し、環境保全重点区域の監視活動や保護啓発を行った。
	再生可能エネルギー推進事業	交付対象事業	再生可能エネルギー導入促進会議を設置し、地域活性化モデルの発掘・開拓、事業化を検討・支援する。また、温室効果ガスの排出抑制のため、薪ストーブ等の設置を支援する。	市民太陽光発電所事業特別会計の設置、木質バイオマス利活用事業の推進など再生可能エネルギーの利用普及を進めることができた。
	公害対策事業	交付対象事業	自動車騒音の常時監視や水質検査を行い環境基準の達成状況を把握する。	環境基準の達成状況を把握するため、自動車騒音の常時監視や水質検査を行った。
	峰山クリーンセンター整備事業	交付対象事業	発がん性が確認されているダイオキシン類の発生を最小限に抑えるため、焼却設備等を計画的に改修する。	発がん性が確認されているダイオキシン類の発生を最小限に抑えるため、焼却設備等を計画的に改修した。
	峰山最終処分場整備事業	交付対象事業	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施する。	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。
	網野最終処分場整備事業	交付対象事業	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施する。	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。
	久美浜最終処分場整備事業	交付対象事業	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施する。	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。
	海岸・海水浴場環境保全事業	交付対象事業	海岸漂着物の清掃など海岸の環境保全と海浜の環境美化に努め、美しい丹後の海岸線を保護する。	海岸漂着物の清掃などを実施し、海岸の環境保全と海浜の環境美化に努めた。
	堀川浄化施設維持管理事業	関連事業	堀川浄化施設を管理し河川の水質保全を図る。	堀川浄化施設を管理し河川の水質保全を図った。
	環境保全意識啓発事業	関連事業	京丹後市の自然に触れながら、自然環境保全への意識向上・啓発を図る。	「鳴り砂の浜」において環境保全意識啓発のイベントを支援することで参加者への意識啓発、並びに市の内外へ市の魅力と環境保全の大切さを広くアピールすることができた。
	エコエネルギーセンター管理運営事業	関連事業	食品系未利用資源を再資源化し、発電のためのバイオガスと環境保全型農業を推進するための液肥を製造する。	生ごみの再資源化、バイオマス発電を実施し、温室効果ガスの削減に寄与するとともに、再資源化による液肥の農業利用により資源循環・環境保全型農業の推進することができた。
環境基本計画推進事業	関連事業	推進体制として、環境基本計画推進委員会を組織し、進捗を確認するとともに、市民等への普及啓発を行う。	推進体制として、環境基本計画推進委員会を組織し、進捗を確認するとともに、市民等への普及啓発を行った。	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

市町村実施事業	事業名	関連事業	事業内容	実施状況	
	市民太陽光発電所整備事業	関連事業	再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用した発電及び売電事業を実施する。	再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用した発電及び売電事業を実施した。	
住民協働事業	水洗化推進支援事業	交付対象事業	水質保全及び地域経済の活性化を図るため、市内業者により排水設備工事を行った者に対し補助金を交付する。また、65歳以上の高齢者世帯に対して補助金を追加交付することにより、高齢者の生活環境の改善とさらなる下水道の普及促進を図る。	水質保全及び地域経済の活性化を図るため、市内業者により排水設備工事を行った者に対し補助金を交付した。（266件）また、65歳以上の高齢者世帯に対して補助金を追加交付し、高齢者の生活環境の改善とさらなる下水道の普及促進を図った。	
	資源循環推進事業	交付対象事業	循環型社会の構築に向け、生ごみの資源化や食品リサイクル液肥の利用を推進する。また、生ごみの資源化を促進し、無駄なごみがゼロに近づくような方策を検討するための委員会を設置する。	市民・事業者・有識者等で構成する委員会での協議により、生ごみ資源化へ向けた具体的方策を検討し、平成30年に一般家庭の生ごみ全量を資源化するという目標を設定することができた。	
	古紙回収団体補助金	交付対象事業	限りある資源の有効活用を進めるため、古紙回収団体のリサイクル活動を支援する。	限りある資源の有効活用を進めるため、古紙回収団体のリサイクル活動を支援した。（145件）	
	廃棄物減量等協力謝金	交付対象事業	自治会の協力によりステーションでの分別収集の指導・啓発を実施し、ごみの減量化に努める。	自治会の協力によりステーション（412か所）での分別収集の指導・啓発を実施し、ごみの減量化に努めた。	
	地域循環型農業支援事業	交付対象事業	有機農業等の生物多様性を育む農業を推進するため、堆肥及び生分解性マルチフィルム等資材の購入を支援する。	有機農業等の生物多様性を育む農業を推進するため、堆肥及び生分解性マルチフィルム等資材の購入を支援した。	
	コウノトリもすめるさとづくり支援事業	交付対象事業	コウノトリなどの鳥類が共生する豊かな田園、里山の環境整備を進めるため、農業推進セミナーを開催する。また、水田ビオトープの設置などに対し補助金を交付する。	地域の農家を巻き込んだ取り組みとなり、環境意識の向上が図られた。また、水田の活用による農環境の保全につながり、生物多様性を育む農業を推進できた。	
	浄化槽設置整備費補助金	関連事業	個人が行う浄化槽設置整備工事に係る経費の一部を補助する。	個人が行う浄化槽設置整備工事に係る経費の一部を補助した（10件）。	
	不法投棄対策事業	関連事業	不法投棄防止啓発看板の設置やパトロール、啓発活動を行うとともに、不法投棄廃棄物の撤去を行う。	不法投棄防止啓発看板の設置やパトロール、啓発活動を行うとともに、不法投棄廃棄物の撤去を行った。	
	木質バイオマス利用促進事業	関連事業	森林が持つ土砂流出防止、水源かん養等の確保、農作物等への害獣軽減を担う森林の整備を支援する。	森林が持つ土砂流出防止、水源かん養等の確保、農作物等への害獣軽減を担う森林の整備を支援した。	
住民が取り組む事業	川のがっこう野間2013（山、人、海を結ぶ命の川再生事業）	関連事業	清流野間川に関連した学習会や講演会、清掃等環境整備事業を実施する。		
	金剛童子山を活用した地域振興事業	関連事業	草刈りなどの登山道保全や登山会を開催する。		
成果指標①	成果指標の目標数値	京丹後市美しいふるさとづくり条例による重点区域数 H22 4か所 → H26 10か所		成果指標の実績値 （平成26年3月31日時点）	4か所
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	現状維持だが目標達成に向け増加を見込む。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	薪ストーブ、ペレットストーブ設置件数 H22 18件 → H26 80件		成果指標の実績値 （平成26年3月31日時点）	31件
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	薪ストーブ・ペレットストーブ設置補助金の周知による。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

成果指標 ③	成果指標の目標数値	小型風力発電システム設置件数 H22 0件 → H26 4件		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	0件
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	小型風力発電システムが高額なため中々設置にまで至らないが、環境に対する意識啓発を行い、地球温暖化防止対策として今後も自然エネルギーを推進する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	古紙等のリサイクル率 H22 12% → H26 25%		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	10.6%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	ごみの総量が増加傾向の中、古紙の回収は微減しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	峰山クリーンセンター焼却量及びリサイクル率 H22 16,619トン、19.2% → H26 16,795トン、26.0%		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	17,343トン、17.7%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	ごみの減量化及びリサイクルの推進を図っているが、年々ごみ自体が増大しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑥	成果指標の目標数値	最終処分場埋立量（市内4施設全体） H22 7,273トン → H26 4,970トン		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	7,465トン
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	H25年度は災害関連の埋め立てごみが少なかった分、H24年度よりも埋立量は減少しているが、年々埋立ごみの量が増加傾向にあるため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	豊かな自然環境を保全するため、環境保護区域のパトロールや分別収集の指導、古紙回収の取り組みを行うなど、市、事業者及び市民が一体となり環境保全活動やごみの減量、地域循環型農業の推進に取り組んだ。また、エコエネルギーセンターはバイオガス発電施設であるが、生ごみを用いた有機物の肥料化（液肥）を推進するための拠点施設としても稼働しており、平成21年度からモデル的に液肥散布を行っている。こうした先進的な取り組みを市内外に情報発信することで、環境に対する意識の高揚と実効性の向上が図れた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：京丹後市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	バイオガス発電で生成される液肥の消費量に合わせるため、現在は発電量を抑制しているが、液肥の普及推進により、液肥の利用が増えてきていることから、今後の発電量の増加が見込まれる。
	住民の自治意識を高める成果	市民団体による環境保全活動や古紙回収、市民協力による資源ごみの分別収集の徹底、生ごみから再資源化された液肥利用による循環型農業の推進、環境体験学習の開催など、市民自らが活動することにより循環型社会の実現に対する市民の意識が高まった。
	リーディング・モデル成果	液肥製造施設において、食品廃棄物や生ごみを肥料や新エネルギーに再資源化する先進的な取り組みを実施することで、地球温暖化対策や資源循環の仕組みなどを実際に見て学ぶことのできる学習施設として活用できた。
	広域的波及成果	コウノトリもすめるさとづくりの推進によるコウノトリの定住。地域資源を活用した豊かで自立した持続可能な地域社会の形成を図るため再生可能エネルギー導入促進会議を設置し、再生可能エネルギーの利活用と今後の地域展開を考える機会として普及啓発映画の上映など、本市の豊かな自然と活用に向けた取り組みを広く紹介できた。
	行財政改革に資する成果	現清掃施設、し尿処理施設等の改修により適正稼動を維持することで、投資的経費やランニングコストを抑制できた。また、現在の3火葬場を統合し、新たな火葬場を建設することで、将来にわたる経常経費の抑制を図った。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。